

『AI 劣化予測と非開削工法を活用したガス導管の戦略的アセットマネジメントの実現』が  
2025年度 インフラメンテナンス「チャレンジ賞」を受賞

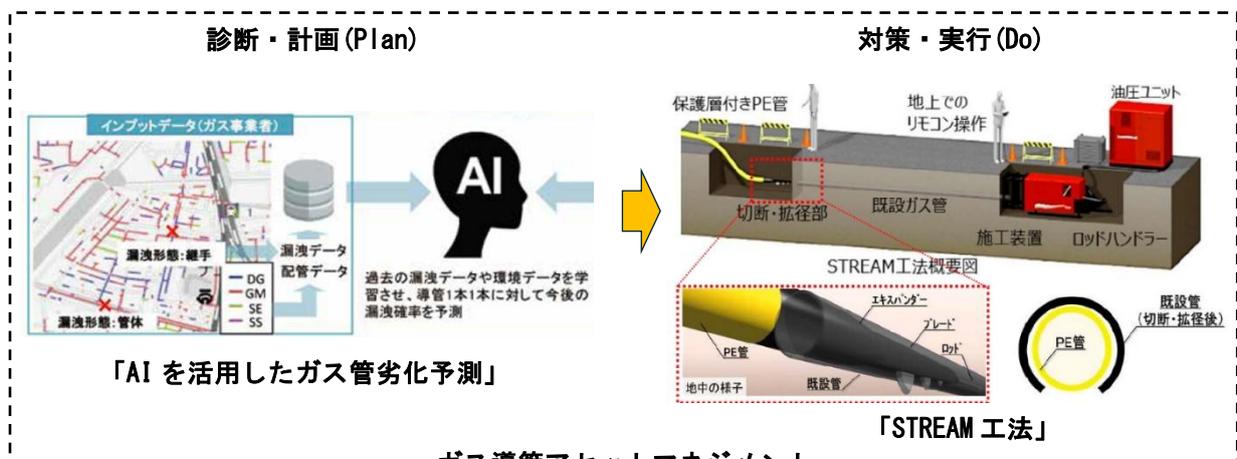
東邦ガスネットワーク株式会社（社長：柴田 喜充）は、公益社団法人土木学会が主催する2025年度インフラメンテナンス賞において、『AI 劣化予測と非開削工法を活用したガス導管の戦略的アセットマネジメントの実現』が、「チャレンジ賞」を受賞しました。

本内容は、社会インフラの老朽化が深刻化する中、科学的根拠に基づく計画的な予防保全を目的として、診断・計画(Plan)と対策・実行(Do)という二つの段階においてそれぞれ、AI/機械学習によるガス導管劣化予測※1と、国内初のダクタイル鋳鉄管を非開削で入れ替える「STREAM 工法※2」を導入し、ガス導管アセットマネジメントを高度化したものです。予防保全型の持続可能なガス導管アセットマネジメント体系を確立した点が評価され、受賞に至りました。

当社は引き続き、都市ガスを安定的にかつ安全にお届けすることで、災害に強く、環境に優しい社会の実現に貢献してまいります。

※1 「AIを活用したガス管劣化予測」 <https://www.tohogas.co.jp/nw/corporate/efficiency/digital-01/>

※2 「STREAM 工法（ストリーム工法）」 <https://www.tohogas.co.jp/nw/technologies/open-cut-07/>



〈本受賞内容の概要〉



〈表彰式の様子〉

以上